

途上国の技術者が大阪・和歌山で防災インフラを学ぶ ～亀の瀬地すべり対策事業・津波避難タワー～

JICA 関西では、9 か国（ベリーズ・チリ・インド・インドネシア・マラウイ・南アフリカ・スリランカ・東ティモール・ベトナム）の防災インフラに携わるエンジニアが、災害対策技術を学ぶ「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント」研修を、10月9日から12月13日まで実施しています。

この一環で11月28～29日に、日本での防災インフラの事例を現場で学ぶため、大阪府と和歌山県を訪問します。大阪府では、奈良県との県境に位置し国内最大規模の地すべり対策事業である亀の瀬地すべり歴史資料室を訪れます。和歌山県では、今後30年間で70～80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ地震に備えるため、行政と市民とが連携して防災に取り組む様子を学びます。また、津波避難タワーや避難経路確保のための道路法面活用など地震・津波対策インフラについても学びます。

参加者は自国で地すべりなどの土砂災害、地震・津波等の課題に取り組むエンジニアで、日本の知見を持ち帰り、各国の災害対策に活かすことが期待されています。

以下の日程で参加者へ取材可能ですのでぜひご検討ください。

取材可能日程（英語通訳が同行します。）

| | | |
|--------------|-------------|----------------------------------------------------------|
| 11/28 (木) | 9:30-11:30 | 視察「亀の瀬地すべり対策事業」 場所：亀の瀬地すべり歴史資料室（大阪府柏原市峠） |
| 11/29 (金) | 10:00-11:45 | 講義「田辺市の防災対策と危機管理」 場所：田辺市役所（和歌山県田辺市東山1丁目5番1号） |
| | 12:45-13:30 | 視察「芳養地区津波避難タワー」 場所：芳養地区津波避難タワー（田辺市芳養松原1丁目28-1） |
| | 13:45-14:30 | 視察「道路の法面を活用した津波災害時の避難路設置」 場所：田辺西 BP（田辺市芳養町宇佐美地区斜面避難路） |

※本視察は国土交通省 近畿地方整備局、和歌山県田辺市、（一財）近畿建設協会の協力を得て実施します。

～ご取材いただける場合は11月26日までにご連絡下さい～

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 研修業務課 西岡 碧（にしおか みどり）

TEL:078-261-0386(代表), 080-7106-7518(直通) E-mail:Nishioka.Midori@jica.go.jp